平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 株式会社 松屋フーズ　　上場取引所　東
コード番号 9887　URL http://www.matsuyafoods.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 緑川 源治
問合せ先責任者　(役職名) 専務取締役経営管理本部長　(氏名) 小松崎 克弘　TEL 0422-38-1121

四半期報告書提出予定日　平成26年2月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	59,276	0.9	1,870	46.7	1,862	44.0	854	46.5
25年3月期第3四半期	58,761	5.8	1,274	△67.1	1,293	△66.6	583	△66.2

(注)包括利益　26年3月期第3四半期　843百万円　(44.5%)　25年3月期第3四半期　583百万円　(△66.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	44.85	―
25年3月期第3四半期	30.62	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	59,571	33,692	56.6	1,767.93
25年3月期	62,249	33,325	53.5	1,748.66

(参考)自己資本　26年3月期第3四半期　33,692百万円　25年3月期　33,325百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	12.00	―	13.00	25.00
26年3月期	―	12.00	―		
26年3月期(予想)				12.00	24.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	79,200	0.1	2,120	10.0	2,080	6.6	600	△22.1	31.47

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
②①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	19,063,968 株	25年3月期	19,063,968 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	6,582 株	25年3月期	6,541 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	19,057,401 株	25年3月期3Q	19,057,507 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続きが実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… 3
４．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や金融政策等の効果により、株価の上昇や企業収益の改善が見られ、緩やかな回復基調となりました。しかしながら、個人消費は景況感や消費者マインドの改善一服を背景に勢いが鈍化しております。

外食業界におきましても、雇用情勢・所得環境の改善が道半ばであることから消費者の節約意識・内食志向等が高まる一方、業種を超えた企業間競争の激化等により、経営環境は一層厳しさを増しております。

このような環境の中で、当社グループは以下のような諸施策を推進し、業容の拡大と充実に積極的に取り組んでまいりました。

新規出店につきましては、直営の牛めし定食店４店舗、とんかつ業態９店舗、その他の業態１店舗の合計14店舗を出店いたしました。一方で、直営の牛めし定食店18店舗、とんかつ業態２店舗につきましては撤退いたしました。したがいまして、当第３四半期連結会計期間末の店舗数はＦＣ店及び一時休業店を含め、1,039店舗（うちＦＣ６店舗、海外３店舗）となりました。この業態別内訳としては、牛めし定食店982店舗、とんかつ業態42店舗、鮨業態８店舗、その他の業態７店舗となっております。

新規出店を除く設備投資につきましては、５店舗の改装（全面改装海外１店舗、一部改装４店舗）を実施した他、工場生産設備などに投資を行ってまいりました。

商品販売及び販売促進策につきましては、新商品として「生姜焼き丼」「ネギ塩豚カルビ定食」「ネギ塩チキングリル定食」「夏野菜のトマトカレー」「夏野菜山形のだし牛めし」「ピリ辛ネギザーサイ牛めし」「きんぴらと半熟玉子牛めし」「カルビ焼き牛めし」「スパイシーカレー」「山形だしとろろ牛めし」「唐揚げコンボ牛めし」「うまトマモッツァレラチーズハンバーグ定食」「トッピング生野菜」「生姜だし牛めし」「肉味噌茄子コンボ牛めし」「味噌漬け豚バラ焼定食」等を導入いたしました。また、「豚キムチ定食」「チキングリル定食」「豚と茄子の辛味噌炒め定食」「トンテキ定食」「豆腐キムチチゲセット」等の再販売や、1,000店舗達成記念として「牛めし」の値引きキャンペーンを実施した他、「牛焼肉定食」「カルビ焼肉定食」の増量キャンペーンを実施いたしました。

これらの取り組みの結果、当第３四半期連結累計期間の連結ベースの業績は次のとおりとなりました。

まず、売上高につきましては、既存店売上が前年同期比96.7％と前年を下回りましたが、前期以降の新規出店による売上増加分が寄与したこと等により、前年同期比0.9％増の592億76百万円となりました。

売上原価につきましては、食材の仕入単価上昇や円安の進行により、原価率が前年同期の33.6％から33.9％に上昇いたしました。

販売費及び一般管理費につきましては、売上高に対する比率が前年同期の64.2％から62.9％と改善いたしました。この要因は、新規出店数が前年同期の90店から14店に減少したことによるイニシャルコストの減少等により人件費以外の経費の売上高に占める割合が、前年同期の31.3％から29.7％と改善したことによるものであります。なお、当社において重視すべき指標と認識しているＦＬコスト（売上原価と人件費の合計。FOODとLABORに係るコスト）の売上高比は、原価率の上昇に加え、人件費の売上高に占める割合が、既存店売上の減少等によって相対的に上昇し、32.9％から33.2％となったことにより、前年同期の66.5％から67.1％へと上昇いたしました。

以上の結果、営業利益は前年同期比46.7％増の18億70百万円、経常利益は同44.0％増の18億62百万円、四半期純利益は同46.5％増の8億54百万円となりました。

なお、当社グループにおいては、飲食事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

（２）財政状態に関する説明

当第３四半期連結会計期間末における総資産は595億71百万円となり、前連結会計年度末に比べ26億77百万円減少いたしました。このうち、流動資産は127億83百万円となり、原材料及び貯蔵品が５億51百万円減少したこと等によって、前連結会計年度末に比べ２億91百万円減少いたしました。また、固定資産は467億87百万円となり、減価償却による減少等によって、前連結会計年度末に比べ23億86百万円減少いたしました。

当第３四半期連結会計期間末における負債は258億79百万円となり、借入金の返済等によって前連結会計年度末に比べ30億44百万円減少いたしました。

当第３四半期連結会計期間末における純資産は336億92百万円となり、利益剰余金の増加等によって前連結会計年度末に比べ３億67百万円増加となりました。自己資本比率は前連結会計年度末の53.5％から56.6％へと改善しております。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年３月期の連結業績予想につきましては、当第３四半期の業績は概ね計画通りの水準で推移しており、平成25年10月31日に公表いたしました、通期の連結業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,666,391	8,220,661
受取手形及び売掛金	410,530	361,432
商品及び製品	261,809	344,455
原材料及び貯蔵品	3,247,344	2,695,979
繰延税金資産	510,089	279,971
その他	978,782	881,115
流動資産合計	13,074,947	12,783,617
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	17,825,455	16,347,081
機械装置及び運搬具（純額）	1,447,343	1,588,021
工具、器具及び備品（純額）	2,158,937	1,765,754
リース資産（純額）	548,247	439,933
土地	10,266,030	10,266,030
建設仮勘定	241,912	44,428
有形固定資産合計	32,487,926	30,451,251
無形固定資産		
ソフトウエア	178,242	187,832
その他	24,791	22,387
無形固定資産合計	203,034	210,219
投資その他の資産		
投資有価証券	268,834	269,052
敷金及び保証金	13,500,723	13,182,149
長期前払費用	670,321	605,471
店舗賃借仮勘定	35,705	29,951
繰延税金資産	1,003,375	1,018,291
投資不動産（純額）	659,402	664,911
その他	364,059	375,676
貸倒引当金	△19,239	△19,081
投資その他の資産合計	16,483,183	16,126,423
固定資産合計	49,174,144	46,787,894
資産合計	62,249,091	59,571,511

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,766,819	1,804,494
短期借入金	926,603	1,582,789
1年内返済予定の長期借入金	3,815,405	3,489,964
未払金	2,520,094	2,607,464
リース債務	165,119	161,811
未払法人税等	1,015,321	452,340
賞与引当金	870,841	439,302
役員賞与引当金	－	425
資産除去債務	294	1,640
その他	941,349	1,153,037
流動負債合計	12,021,848	11,693,271
固定負債		
長期借入金	15,060,515	12,443,042
役員退職慰労引当金	582,100	582,100
リース債務	409,485	299,579
資産除去債務	678,391	686,731
繰延税金負債	14,091	14,464
その他	157,640	160,289
固定負債合計	16,902,224	14,186,208
負債合計	28,924,072	25,879,479
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,655,932	6,655,932
資本剰余金	6,963,144	6,963,144
利益剰余金	19,733,073	20,111,359
自己株式	△12,785	△12,849
株主資本合計	33,339,365	33,717,586
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19	159
為替換算調整勘定	△14,365	△25,714
その他の包括利益累計額合計	△14,345	△25,555
純資産合計	33,325,019	33,692,031
負債純資産合計	62,249,091	59,571,511

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
売上高	58,761,665	59,276,987
売上原価	19,715,157	20,110,448
売上総利益	39,046,507	39,166,539
販売費及び一般管理費	37,771,556	37,296,066
営業利益	1,274,951	1,870,472
営業外収益		
受取利息	28,546	30,644
受取配当金	1,229	1,229
受取賃貸料	190,854	188,490
その他	139,309	110,199
営業外収益合計	359,938	330,563
営業外費用		
支払利息	152,029	150,765
賃貸費用	167,879	162,866
その他	21,976	25,012
営業外費用合計	341,885	338,644
経常利益	1,293,003	1,862,392
特別利益		
固定資産売却益	804	600
固定資産受贈益	－	4,182
補助金収入	110,341	－
収用補償金	16,840	127,109
その他	720	－
特別利益合計	128,707	131,892
特別損失		
固定資産除却損	5,587	7,949
店舗閉鎖損失	1,627	16,603
固定資産売却損	10,095	18,481
減損損失	132,597	138,315
その他	250	1,780
特別損失合計	150,158	183,131
税金等調整前四半期純利益	1,271,552	1,811,154
法人税、住民税及び事業税	618,435	739,809
法人税等調整額	69,595	216,623
法人税等合計	688,030	956,433
少数株主損益調整前四半期純利益	583,521	854,720
四半期純利益	583,521	854,720

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	583,521	854,720
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10	140
為替換算調整勘定	145	△11,349
その他の包括利益合計	135	△11,209
四半期包括利益	583,657	843,511
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	583,657	843,511
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、平成25年６月26日開催の定時株主総会及び平成25年10月31日開催の取締役会において、下記の配当に関する事項を決議し、配当金の支払をいたしました。この結果、第１四半期会計期間において、利益剰余金が247,746千円減少し、当第３四半期において利益剰余金が228,688千円減少しております。

（決議）	株式の種類	配当金の総額（千円）	１株当たり配当額（円）	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年６月26日定時株主総会	普通株式	247,746	13	平成25年３月31日	平成25年６月27日	利益剰余金
平成25年10月31日取締役会	普通株式	228,688	12	平成25年９月30日	平成25年12月10日	利益剰余金